



## 【阪神高速 未来へのチャレンジプロジェクト】 第1回助成事業の決定について

阪神高速道路株式会社（大阪市北区、代表取締役社長:吉田光市）は、グループ会社6社（※）及び一般財団法人阪神高速地域交流センターとともに、本年4月より【阪神高速 未来へのチャレンジプロジェクト】をスタートしました。

（※）阪神高速サービス株式会社、阪神高速技術株式会社、  
阪神高速パトロール株式会社、阪神高速トール大阪株式会社、  
阪神高速トール神戸株式会社、阪神高速技研株式会社



本プロジェクトは、市民団体が阪神高速道路沿線で行う公益的な活動に対し、公募により助成を実施するもので、市民団体との協働により社会課題の解決を図り、地域・社会の持続的発展及びSDGs達成へ貢献していくことを目的としています。

第1回助成として、2021年4月16日から6月23日まで3つのテーマ（①安全・安心なまちづくり、②持続可能な環境づくり、③次世代を担う人づくり）に沿った事業プランを募集したところ、計53事業の応募をいただきました。これらを厳正に審査した結果、以下の8事業へ総額約370万円の助成を実施することを決定しました。

団体名	事業名称	事業概要
特定非営利活動法人 いけだエコスタッフ	「食とエネルギーの地域内循環」をテーマとした持続可能なまちづくり	池田市において、再生可能エネルギー（主に小水力発電）による電力調達の可能性を検討するため、発電ポテンシャル調査や実証実験を実施する。
特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会	子どもの権利条約を掲げSDGs達成を目指すユースリーダー育成とユースアクションプラットフォームの構築～ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 開催に向けて～	国際協力やSDGsを推進するユースリーダーを育成し、阪神地域の課題や世界的な課題を解決するための実践的な活動を通して、アクションプラットフォームをつくる。

団体名	事業名称	事業概要
特定非営利活動法人 ここから Kit	子育て世代が主役となる災害に強いまちづくり推進事業	子育て世代が主体となり、地縁組織と連携して防災を考える場づくりや講座を開催し、地域住民に対して「知っていれば守れるいのちがある」を伝える。
特定非営利活動法人 児童虐待防止協会	学校現場での子ども虐待予防教育推進のための取り組み	学校の教員や関係者が子ども虐待予防教育の理解を深め、授業に取り組みやすくするための冊子を作成、大阪府内の高校へ配布し、その普及・推進を図る。
多文化共生センター ひょうご	多言語による地域の交通安全推進のためのツール作成	在住外国人に対し、日本の交通法規や交通安全に対する理解を促す多言語版ツールを作成し、地域の日本語教室等でこれらを用いた交通安全に関する理解促進の場を提供する。
特定非営利活動法人 日常生活支援ネットワーク	地域防災を障害当事者や福祉サービスも交えて考える covid-19 の時代	災害で取り残される多様な当事者（障害者・高齢者等）によるコロナ禍で起きていることの証言・検証を基に、平時から地域・市民・当事者・支援者が繋がる機会づくりに取り組む。
特定非営利活動法人 プラス・アーツ	BO-SAI キッズクラブ ぼうさい〇〇プロジェクト	防災キッズクラブを設立し、受け身ではなく防災分野の様々なプログラムを企画、実践する主体的、探究的学びの場を創造する。
特定非営利活動法人 北摂こども文化協会	関西初のプレイカーによる移動式遊び場づくり	プレイカーを通じた遊び場サポーターの養成、移動式遊び場の開催により、子どもの健やかな成長を支えると共に、多世代交流型の安心安全な地域コミュニティを創る。

（団体名の 50 音順）

なお、活動成果については、2022 年 11 月頃、弊社 HP 等で公表する予定です。

今後も、本プロジェクトを通じて、地域・社会の持続的発展に貢献できる活動を応援し、明るい未来の共創に努めてまいります。